

活動報告

第3回関西支部技術士受験説明会



技術士包装物流会関西支部
副支部長 前田一也

【日時】平成28年2月9日（火）

【場所】パナソニック松心会館

【説明会受講者25名、技術士12名⇒合計：37名】

1. 開会の挨拶・・・・・・・・福喜多支部長
2. 基調講演：「技術士試験・受験のすすめ」について

【1】講師：森川 亮 技術士（機械部門）

技術士の試験制度の概要および試験制度の変更点について説明され、技術士を受験する上での心構えや勉強法などを紹介された。説明内容は下記の項目であり、パワーポイントを使用して解説を実施された。

1) 技術士制度とは/登録とは

技術士制度の内容について説明され、登録の仕方についても説明された。

2) 技術士と技術士補とは

指導の業務を行えること、すなわちコンサルタントとしての活動ができることを説明された。また、技術士補が技術士の補助を行う立場であることを説明された。

3) 技術士取得のメリットについて

7つのメリットについて説明された。

4) 技術士CPDについて

技術士は、職業倫理を備えることを求められると同時に、自らが継続して社会のニーズに合致した研鑽の実施が必要です。

5) 技術士第一次試験／技術士第二次試験／技術士第一次・第二次試験合格者数の推移

技術試験の変更点および合格判定基準について解説を実施。さらに合格率および受験者数の推移について解説された。

6) 技術士試験合格のコツ・勉強方法

- ①業務における役割と主体的に取り組んだ内容の明確化
- ②技術士にふさわしい経験であることの表現
- ③古くない体験，知識 ⇒業界誌コンバーテック，印刷雑誌，設計工学会に投稿（考察） ⇒日刊工業新聞の1年間購読（知識）
- ④専門分野の前提化は避ける ⇒家族に説明する（説明責任）
- ⑤業界のウラ話（聞きかじり、知ったかぶりでない裏付け

【2】真野仁孝氏から、「経営工学部門：生産マネジメント」の内容と技術士取得までの苦労話、受験対策のコツなど、実体験上の紹介が行われた。

- 1) 経営工学の定義と変遷及び選択科目とキーワードについて説明。
- 2) 技術士試験受験に当たり、私の体験と皆様にお勧めすること。
 - (1) 二次試験は「受験申込書」書きから始まっている。⇒「受験申込書」は「口頭試験」にて、自分をアピールするための重要な“資料”である。
 - (2) 考えながら書くことが要求されているため、自分の手で文章を書く習慣を付けること。パソコンではなく自分の手で書くことにより、脳へ刺激が与えられる。日記をつけることも有効。
 - (3) 通勤時間を利用するなど、自分の生活リズムに合った試験勉強時間を設定すること。
 - (4) 「手」「目」「耳」「口」を使って勉強すること。携帯電話、デジタルカメラなど「文明の利器」の活用。
 - (5) 過去の問題を十分に“分析”し、「自分が試験問題出題者だったら、このような問題を出題する」と考え問題を“予測”する。⇒出題予測は、「出題サイクル」と「その時のトレンド」を考慮。
 - (6) 技術士コミュニティに参加することにより関連情報を得ること。直接的、間接的にヒントとなる。
 - (7) 口頭試験対策として、普段から落ち着いて論理的に相手に分かりやすいように話をすることを意識すること⇒面接官は“顧客”と思い、受け答えする。
 - (8) お勧めの書籍 ①「技術士ハンドブック」 社団法人 日本技術士会 プロジェクトチーム 技術図書刊行会 ②「技術士第二次試験

解答事例集」(年度、部門別) (株)新技術開発センター発行。

【3】 一岡幹朗氏から、「経営工学部門：ロジスティクス」の内容と技術士取得までの苦労話、受験対策のコツなど、実体験上の紹介が行われた。

- 1) 経営工学の「ロジスティクスとは」及び技術士における「包装と物流」の変遷について説明があった。
- 2) 技術士試験受験に当たり、私の体験と皆様にお勧めすること。
 - (1) 1次試験の勉強方法・2次試験の勉強方法について詳細に説明。
 - (2) 口頭試験の勉強方法
 - ①業務経歴票、業務内容の詳細、筆記試験の解答を見直しておく。
 - ②技術士になったらやりたいことをまとめておく。
 - ③技術士法(目的・定義)暗記
 - ④技術士倫理綱領を暗記。
 - (3) 実際の口頭試験(具体的な内容でしたので詳細掲載)
 - ①受付後、大部屋の待合室で待機
 - ②10分前に受験する部屋の前のいすで待機。
 - ③呼ばれたら「礼」をして受験番号と名前を伝える
 - ④まず経歴の説明。
 - ⑤業務内容の詳細説明。
 - ⑥それぞれへの質問(技術的質問・基本知識の確認)
 - ⑦技術士を目指した動機。
 - ⑧技術士になったときの心がまえとCPDの話
 - ⑨国際的活動の意思または計画。
 - ⑩保有パテントの説明
 - ⑪業務内容の詳細。

【4】 3人の講演に引き続いて、前田副支部長の司会によってパネルディスカッションが行われた。

- 1) パネラー：①森川 亮氏：技術士(機械部門：産業機械) ②真野仁孝氏：技術士(経営工学部門：(生産マネジメント) ③一岡幹朗氏 技術士(経営工学部門：ロジスティクス)

4. 質疑応答

- 1) 事前に2件の質問を頂き、パネラーから回答が行われた。
 - ・Q(板垣氏) 2次試験の評価について不合格の場合、どのような評価結果が通知や改善策など
 - A(パネラー) 必須科目、選択科目とも60点以上必要でそれぞれの評価・合計得点の評価表記
 - ・Q(板垣氏) 2次試験で参考になる書籍

A (パネラー) 書面で5点の書籍紹介

・Q (小梶氏) 「技術士にふさわしい実績」と言う経験論文が纏まらず困っている。

A (パネラー) ①私の立場と役割 ②業務の課題 ③私が行った技術的提案 ④技術的成果等記述

また自身が関わっている業界や公的機関へ、積極的に記事／論文などを投稿し、それらを主に記入していった

・Q (米田氏) 業務のpatent性や自分の持つpatentが無い場合、2次合格は困難ですか？

A (パネラー) いいえ、必須では有りません。どのような業務にいかに関進したかが重要です。

・Q (野々山氏) 第二次試験の論述対策で、どれくらい論文を書いたか教えて頂きたい

A (パネラー) 過去問を分析し、数パターンのモデル解答をPCで推敲した。後に手書きで何度も訓練した。1枚を約20分で書き上げるペースで毎日書き続けた。A4ノート1冊程度書いた。

5、【受講者で希望者のみの交流会（講師との交流で大変有効でした）】

【参加者：30名】

- 1) レストラン：パナソニック松心会館 16:50～19:45
- 2) 高垣支部相談役の乾杯の音頭により開会し、3人のパネラーを囲んで話が弾み、宮木会員の締めで閉会



参加者の聴講風景